

令和4年度 事業報告

公益社団法人 日本皮膚科学会

令和4年度 日本皮膚科学会 事業報告

1. 会員状況（令和5年3月31日現在総数）

(1) 会員数	12,933名
・正会員	12,651名
・賛助会員	282名
(2) 皮膚科専門医数	7395名
・新規資格認定者	0名
・資格更新認定者	935名（学会：70名 機構：865名）
・資格喪失及び資格喪失予定者	73名
(3) 皮膚悪性腫瘍指導専門医	91名
・新規資格認定者	4名
・資格更新認定者	17名
・資格喪失及び資格喪失予定者	3名
(4) 美容皮膚科・レーザー指導専門医	53名
・新規資格認定者	5名
・資格更新認定者	6名
・資格喪失及び資格喪失予定者	0名

2. 学術大会、講習会、その他の研究集会の開催

(1) 総会、学術大会

- ・第121回日本皮膚科学会総会
会頭：佐山 浩二（愛媛大学）
会期：令和4年6月2日（木）～6月5日（日）
場所：国立京都国際会館（京都府・京都市）
- ・第86回日本皮膚科学会東部支部学術大会
会長：阿部 理一郎（新潟大学）
会期：令和4年8月27日（土）～28日（日）
場所：朱鷺メッセ（新潟県・新潟市）
- ・第86回日本皮膚科学会東京支部学術大会
会長：田中 勝（東京女子医科大学附属足立医療センター）
会期：令和4年11月19日（土）～20日（日）
場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）

- ・第73回日本皮膚科学会中部支部学術大会
会長：清水 忠道（富山大学）
会期：令和4年10月29日（土）～30日（日）
場所：富山国際会議場（富山県・富山市）
- ・第74回日本皮膚科学会西部支部学術大会
会長：名嘉眞 武国（久留米大学）
会期：令和4年10月22日（土）～23日（日）
場所：久留米シティプラザ（福岡県・久留米市）
- ・上記のとおり日本皮膚科学会総会及び支部学術大会の運営を本部にて実施し、総会の講演についてはE-learningを実施

(2) 講習会

- ・必須（総会）
日時：令和4年6月5日（日）9：20～13：20
Web開催
- ・必須（夏）
日時：令和4年8月13日（土）9：30～13：30
Web開催
- ・必須（冬）
日時：令和5年1月8日（日）9：30～13：30
Web開催
- ・選択（夏）
日時：令和4年8月14日（日）9：30～13：30
Web開催
- ・選択（冬）
日時：令和5年1月7日（土）9：30～13：30
Web開催
- ・東部支部企画
日時：令和4年8月28日（日）15：10～17：10
Web開催

- ・東京支部企画
日時：令和4年11月20日（日）13：30～15：30
Web開催

- ・中部支部企画
日時：令和4年10月30日（日）15：30～17：30
Web開催

- ・西部支部企画
日時：令和4年10月21日（金）16：00～18：00
Web開催

(3) 研修会

- ・皮膚悪性腫瘍指導専門医研修会
日時：令和4年6月25日（土）
Web開催
- ・美容皮膚科・レーザー指導専門医研修会
日時：令和4年8月7日（日）
場所：虎ノ門ヒルズフォーラム（東京都・港区）

(4) Clinical Dermatology Leadership Seminar 2022

- 日時：令和4年10月1日（土）～2日（日）
場所：都市センターホテル（東京都・千代田区）

(5) 第7回皮膚科サマースクール2022

- 日時：令和4年7月17日（日）～18日（月・祝）
場所：ルスツホテル&コンベンション（北海道・留寿都村）

(6) スペシャリティーナース講習会

- E-learningにて実施

3. 機関誌その他の刊行物の発行

- ・日本皮膚科学会雑誌（第132巻）
月刊邦文誌、臨時増刊（年1回） 計 年13回刊行
- ・The Journal of Dermatology (Vol. 49)
月刊英文誌 計 年12回刊行
- ・西日本皮膚科（西部支部）(Vol. 84)
偶数月（隔月） 計 年6回刊

- ・ JDA Letter

季刊誌 計 年 4 回刊行

4. 内外の関連する団体との連携

(1) 国内

- ・ 「ひふの日」(11月12日)を中心にした一般市民向けの啓発事業の展開
各都道府県において、講演会、健康相談、無料診断、広報活動等を実施
- ・ 依頼があった皮膚科関連学会の総会等の大会運営支援を実施

(2) 海外

- ・ The 12th Asian Dermatological Congress (ADC)
会長：森田 明理 (名古屋市立大学)
日時：令和4年8月4日(木)～5日(金)
場所：虎の門ヒルズフォーラム (東京都・港区)

5. 皮膚科学に関する調査研究及び治療ガイドライン等の作成

- ・ 医薬品等による副作用の症例の収集及び医薬品等のより良い使用方法の周知
- ・ AI及び遠隔診療の各 Working Group による検討
- ・ ICT 医療等の研究の検討
- ・ 各種ガイドライン及びマニュアル等の新規作成・改訂作業の実施

6. 専門医の認定及び皮膚科医研修施設の指定

(1) 専門医認定

①認定試験の実施

- ・ 第30回皮膚科専門医認定試験
日時：令和4年12月11日(日)
場所：虎の門ヒルズフォーラム (東京都・港区)
- ・ 第16回皮膚悪性腫瘍指導専門医認定試験
日時：令和5年1月22日(日)
場所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター (東京都・中央区)
- ・ 第16回美容皮膚科・レーザー指導専門医認定試験
日時：令和5年1月22日(日)
場所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター (東京都・中央区)

②関連事業

- ・ 機構専門医制度における各種対応

(2) 研修施設

- ・主研修施設及び研修施設の更新、取消等の実施

7. 皮膚科学に関する教育、研究の奨励及び業績の表彰

- ・皮膚疾患ケア看護師制度の認定

- ・留学支援制度の実施

- ・皮膚科教育コンテンツの充実

- ・研究者の養成を目的とした助成事業

- ・日本皮膚科学会皆見省吾記念賞

受賞者：木下 真直／山梨大学

受賞論文：Neutrophils initiate and exacerbate Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis
Science Translational Medicine, Volume 13, Issue 600, eaax2398, 2021

- ・日本皮膚科学会・雑誌論文賞

受賞者：影山 玲子／浜松医科大学

受賞論文：浜松医科大学皮膚科における発汗試験（スポット法）の実際と特発性後天性全身性無汗症 30 症例の発汗障害部位のまとめ
日本皮膚科学会雑誌 第 131 巻第 4 号 707-711, 2021

- ・The Journal of Dermatology Best Paper Prize (2021)

受賞者：佐藤 洋平 (Yohei Sato) / 杏林大学

受賞論文：Development of a scoring system to predict outcomes of i. v. corticosteroid pulse therapy in rapidly progressive alopecia areata adopting digital image analysis of hair recovery
The Journal of Dermatology, Volume 48, Issue 3, 301-309, 2021

- ・Master of Dermatology

受賞者：古川 福実／和歌山県立医科大学 名誉教授 高槻赤十字病院 名誉院長

受賞テーマ：ループスエリテマトーデスの皮膚病変に対する発症機序の解明と治療方法の確立に関する一連の研究

- ・日本皮膚科学会基礎医学研究費の授与

受領者：小住 英之／北海道大学

研究課題：上皮組織損傷応答性幹細胞の制御機序の解明

受領者：宮川 卓也／東京大学

研究課題：脂肪細胞を軸とした全身性強皮症の血管障害に関する病態解析

受領者：江川 形平／京都大学

研究課題：T細胞を抗原特異的に皮膚へ遊走させるメカニズムの解明

受領者：酒井 貴史／大分大学

研究課題：アトピー性皮膚炎における循環脂質異常の病態意義：角層脂質異常との関連を含めて

受領者：澤田 雄宇／産業医科大学

研究課題：炎症性皮膚疾患における S100A2 の役割についての解析

受領者：中原 真希子／九州大学

研究課題：酒さのメカニズムの解明—インフラマソームの関与と黄連解毒湯やバイカリンによる抑制機序の解明—

- ・日本皮膚科学会炎症性皮膚疾患研究費の授与

受領者：松岡 悠美／大阪大学

研究課題：便秘に依存する腸内細菌叢変化と尋常性ざ瘡の皮膚免疫応答の変化解析

- ・日本皮膚科学会皮膚医学研究基金の授与

受領者：住田 隼一／東京大学

研究課題：皮膚免疫担当細胞の遊走を制御する新規脂質関連受容体の探索

受領者：新熊 悟／奈良県立医科大学

研究課題：X染色体の不活性化機構を応用した細胞競合モデルマウスの作製

- ・日本皮膚科学会基礎研究助成の授与

受領者：乃村 俊史／筑波大学

研究課題：長島型掌蹠角化症を切り口にした新規 mRNA 品質管理機構の解明

受領者：本田 哲也／浜松医科大学

研究課題：シングルセルトランスクリプトーム解析を通じた特発性後天性全身性無汗症の病態解明と治療標的の同定

受領者：大日 輝記／香川大学

研究課題：C10orf99 ペプチドによる表皮の生体防御とバリア調節機構

8. 皮膚科学に関する国際的な研究協力の推進

- ・皮膚科関連国際会議出席

- ・ILDS（国際皮膚科連盟）活動に対し資金援助及び協力

9. 皮膚科学に関する情報の公開

- ・日本皮膚科学会ホームページの更新

- ・日本皮膚科学会パンフレットの改定

- ・皮膚科 Q&A の改訂準備（英文ページの拡大含む）
 - ・皮膚科広報動画作成
10. その他、本会の目的を達成するために必要な事業
- ・一斉メール配信システム導入に伴う E-mail アドレス登録促進
 - ・日本専門医機構との各種折衝（継続事業）
 - ・新型コロナウイルス（COVID-19）に関する各種対応
 - ・テレビ会議等及び e-learning の拡大、拡充

以上